

八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム
＜プログラム③がん看護コース＞

＜八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム教育目標＞

1. 患者・家族の意思決定支援ができる看護師の育成
2. 自分の行う看護に根拠をもち、自律して行動できる看護師の育成
3. 患者の退院後の生活をイメージし、生活のアセスメントと個別性に合わせて援助できる看護師の育成
4. 患者が住む地域の状況を理解して生活を支えることのできる看護師の育成
5. 地域のニーズを踏まえて自分のキャリアを組み立てられる看護師の育成
6. 広域地域に貢献できる看護師の育成

	急性期	回復期	慢性期
施設	八戸市立市民病院 急性期一般病棟	五戸総合病院	三戸中央病院
期間	3 年	1 年	2 年
ねらい	①がんの急性期医療（診断、手術、抗がん薬、放射線治療）と緩和ケアにおける標準的な看護を実践できる ②がん患者の標準的な看護と受け持ち患者の状態の違いに気づき個別性に合わせたケアを提供できる（身体面・精神面） ③地域がん診療連携拠点病院の役割と機能を理解できる	①地域における回復期病院の機能・役割、看護について学ぶことができる ②急性期治療後あるいは急性期治療が適応にならないがん患者に個別的な看護が実践できる ③他職種と連携して患者・家族の意思決定支援ができる	①地域における慢性期病院の役割、看護について学ぶことができる ②日常生活、社会生活と両立しながらがん薬物療法を受ける患者へ個別的な看護を実践できる ③他職種と連携して患者・家族の意思決定支援ができる
到達目標	①がんの診断、手術、抗がん薬治療、放射線治療、緩和ケアそれぞれ標準的な看護計画やクリニカル・パスに基づき看護の実践ができる ②がんやがん治療に関連する症状マネジメントの方法を理解し、実践できる ③治療方法に応じたセルフケア指導ができる ④基本的緩和ケアを理解し、実践できる ⑤看護スタッフ・他職種に自らの意見を述べ適切な人間関係を構築できる ⑥スキル向上のための研修・学会へ参加する	①急性期からの入院調整や、自宅や施設への退院調整を行う ②患者を受け持ち、思いやニーズに応じた個別性のある退院支援計画を立案し、実践する ③地域や病院で行っているACPの取り組みについて学び、実践する ④患者が生活する地域の特徴を学ぶ ⑤がん患者の生活に根ざした看護についてレポートを作成する	①緩和ケアの実践ができる ②個別的な症状マネジメント、セルフケア支援、社会的支援が実践できる ③多様な対象者に必要な看護について理解できる ④多職種カンファレンスや倫理カンファレンスを企画・開催できる ⑤病棟で行った退院支援を振り返る ⑥対象者別に必要な看護、多職種チームで取り組んだことのレポートを作成する
方法	①配置はがん診療を行っている急性期病棟とする ②八戸市立市民病院看護局キャリアラダーに沿って研修を受講する ③3 年目には緩和ケア病棟やがん相談支援センターでの看護を経験する ④1 年目に受け持ちした患者の看護の経験を振り返ったレポートを作成する ⑤2 年目に新人看護師にほほえみ SUN として関わる ⑥3 年目に退院支援を実践した看護についてレポートを作成する	①急性期 3 年目でまとめたレポートを基に急性期看護についてプレゼンテーションを行う ②ACP の取り組みについて学び、実践する ③がん患者の生活に根差した看護についてレポートを作成する	①対象者別に必要な看護、多職種チームで取り組んだことのレポートを作成する ②キャリアプランを作成する ・認定看護師、専門看護師、看護管理者などとの交流 ・大学院進学についても検討する
評価	①新人看護師技術チェックリスト ②キャリアラダーレベルⅠ・Ⅱの申請・認定 ③人事評価（能力・業績）と面接	①ケースレポートの評価 ②訪問看護ステーション職員からのフィードバック ③キャリアラダーⅡ意思決定を支える力の再評価 ④人事評価（能力・業績）と面接	①ケースレポートの評価 ②キャリアプランの具体性や方向性へのフィードバック（各病院の教育担当者） ③キャリアラダーⅢ申請（八戸市立市民病院） ④人事評価（能力・業績）と面接
備考	本人の希望により八戸市立市民病院での研修を受講することもできる		